

第1期業務実績評価結果の推移

業務運営計画			評価						
			H16	H17	H18	H19	H20	H21	総合
I 教育研究等の質的向上に関する事項	1. 教育機能の充実強化	(1)博士課程創設	A	C	-	-	B	A	B
		(2)修士選科生制度創設・修士科目生等指導方法工夫	A	A	A	B	B	A	B
		(3)学習センターの機能の充実	B	A	A	A	A	A	A
		(4)単位互換制度の実効性の向上	A	A	A	A	A	A	A
		(5)放送教材の外国語版の作成等	-	-	-	A	A	A	A
	2. 研究機能の充実強化	(1)研究推進	A	A	A	A	A	A	A
		(2)研究費重点配分							
		(3)研究成果発信							
		(4)共同研究推進							
	3. 教育体制・教育内容等の改善	(1)教育体制の改善	A	A	A	A	A	A	A
		(2)教育内容等の改善	A	A	A	A	A	A	A
	4. ICT活用教育の推進		-	-	-	-	-	A	A
	5. 大学運営の意思決定の迅速化	(1)学長補佐制度の効果的運用による機動的・効率的運営	A	-	-	-	-	-	A
		(2)意思決定の迅速化	A	-	-	-	-	-	A
		(3)意思決定情報の迅速な共有化	A	-	-	-	-	-	A
II 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1. 組織運営の改善及び効率化	(1)事務組織再編の趣旨を踏まえた業務推進及び人員再配置	A	A	A	A	A	A	A
		(2)人事・給与システムの改善	-	A	A	A	A	A	A
	2. 業務運営の改善及び効率化	(1)事務事業の簡素化・迅速化	A	A	A	A	A	A	A
		(2)学習センターの運営の効率化等	A	A	A	A	A	A	A
		(3)学習相談・助言体制等の改善	B	A	A	A	A	A	A
		(4)ITの活用	A	A	A	A	A	A	A
		(5)広報活動システムの強化	A	A	A	A	A	A	A
	3. 放送のデジタル化対応及び番組制作システムの改善	(1)地上デジタル放送	A	A	A	A	A	A	S
		(2)放送番組制作のデジタル化促進	A	A	A	A	A	A	A
		(3)放送番組制作におけるメディア表現方法工夫	-	A	A	A	A	A	A
		(4)放送期間の弾力化	-	A	A	A	A	A	A
		(5)著作権処理体制強化	A	A	A	A	A	A	A
		(6)字幕放送の充実	A	A	A	A	A	A	A
	III 財務内容の改善及び合理化に関する事項	1. 自己収入の確保等	(1)自己収入の確保	B	B	B	B	B	B
			(2)資産の効果的運用等	-	A	A	A	A	A
(3)外部研究資金の拡充			A	A	A	A	A	A	A
2. 経費の縮減		(1)管理的経費の抑制	A	A	A	A	A	A	A
		(2)事業的経費等の効率化	A	A	A	A	A	A	A
		(3)効率化の目標(5%業務経費効率化)	-	-	-	-	-	S	S
3. 自己収入割合の改善	自己収入割合50%	-	-	-	-	-	B	B	
IV 施設・設備の改善及び効率化に関する事項		(1)学習センターの整備	A	A	A	A	A	A	
		(2)整備手法多様化(連携協力事業推進)							
V 自己点検・評価等及び情報の提供に関する事項	1. 自己点検・評価等	(1)自己点検・評価及び認証評価	A	A	A	B	B	A	
		(2)授業評価及びモニタリング制度導入							
	2. 情報提供等	(1)シラバス充実及び授業科目履修例のHP掲載	A	A	A	S	A	A	A
(2)専任教員等の経歴・研究概要等公開		-	A	-	A	-	-	A	
VI その他の事項	1. 教職員の意識改革等	(1)コスト意識昂揚、学生サービス向上	A	A	A	A	A	A	A
		(2)職員研修強化	-	A	A	A	A	A	A
		(3)FD実施	A	A	A	A	A	B	A
		(4)教職員の学生募集活動	A	A	A	A	A	A	A
	2. 監査機能の強化		A	A	A	A	A	A	A
	3. 同窓会との連携の強化		A	A	A	A	A	A	A
	4. メディア教育開発センターとの連携協力の緊密化		A	A	A	A	A	-	A

放送大学学園における業務実績評価の基準について

平成 22 年 6 月 29 日
放送大学学園評価委員会

年度計画の評価については、業務運営計画の年度計画に基づき、以下の基準により 4 段階に分けて行うこととする。

- S 年度計画を上回って実施している。
- A 年度計画を順調に実施している。
- B 年度計画を十分に実施できていない。
- C 年度計画を実施していない。

総合評価については、業務運営計画に基づき、以下の基準により 4 段階に分けて行うこととする。

- S 計画を上回って実施している。
- A 計画を十分に実施している。
- B 計画を十分に実施できていない。
- C 計画を実施していない。